

## 伊東市教育委員会定例会会議録

- 1 日 時 令和5年10月24日（火曜日）  
午後2時30分～午後4時30分
- 2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室
- 3 出席者 教育長 高橋 雄幸 委員 村上 恵宏  
委員 沼田 芳美 委員 遠山 泰範  
委員 辻 恵
- 4 参 与 教育部長 浜野 義則 次長兼教育総務課長 杉山 宏生  
教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 鈴木 慎一  
生涯学習課長 山下 匡弘
- 5 事務局 教育総務課課長補佐 二宮 悠 主事 松岡 翔太
- 6 会議の経過

**高橋教育長**：ただ今から伊東市教育委員会10月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

（事務局から出欠報告及び資料確認）

**高橋教育長**：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。10月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

9月29日 中学校5校体育祭見学、市人事異動発令式、

第67回伊東市スポーツ祭総合開会式・体育協会章表彰式

30日 市教育機関職員採用第3次試験

10月 1日 第56回空太郎祭、芸術祭茶道連盟秋の茶会

2日 10月人事異動発令・条件付採用期間職員終了発令

5日 サマーレビュー市長ヒアリング

6日 サマーレビュー市長ヒアリング、市男女共同参画推進会議

- 10日 市町教育長会、市町対抗駅伝競走大会伊東市実行委員会
- 11日 市懲戒分限審査委員会
- 12日 臨時議会、市監査委員発令式、  
市教育機関職員採用試験委員会
- 13日 教頭会、園長会、特別支援学校伊東分校（旧旭小校舎）見学
- 14日 ワイズメンズクラブ富士山部部会
- 15日 東豆教職員芸術展見学
- 16日 バドミントンクラブ（ワールド）市長表敬訪問同席
- 17日 伊東幼稚園運動会见学、  
伊豆伊東高校訪問（伊東市史図書贈呈）
- 18日 青少年問題協議会幹事会、青少年補導センター運営協議会
- 19日 熱海市教育委員会訪問
- 20日 三島・田方・東豆地区市町教育長懇談会
- 21日 東部社会教育振興協議会研修会
- 22日 市三曲連盟五十周年記念演奏会
- 23日 JMTBC（日本マウンテンバイク）交流イベント
- 24日 教育委員会定例会、タウンミーティング（十足）

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

**高橋教育長**：それでは、各委員から報告をお願いします。

**委員**：北中学校の9月29日の体育祭、10月20日の文化祭に参加させていただいた。体育祭については、暑い時期だったので、熱中症対策や休憩時間の確保がしっかりとなされていた。昔の組み立て式とは異なる簡単に建てられるテントが本部席はもちろん、生徒の見学席、保護者席まで用意しており、熱中

症対策がなされて、よかった。それから文化祭の方は、吹奏楽部の演奏など元気にやっていました。コロナ禍で全くできなかった去年までと比べると、できることが増え、元気が良くて、良かったと思う。

**委員：**南中学校の体育祭に出させていただき、文化の部は今週の金曜日に見学させていただく。体育祭はすごく盛り上がっていて、良かったなというのが一番の印象である。南中は、生徒数も多く、コロナ関連の規制がなくなり、生徒がチームに分かれて、応援にしても競技にしても、すごく一生懸命に取り組んでいたのが、伝わってきた。終わってからチームごとにまとまって、リーダーがひと言ふた言、みんな頑張ったねと述べる時間もあったようだ。見ていて、こういった形で再開できて、良かったと思った。PTAからも大勢の協力を得られていて、その雰囲気もすごく良かったと思う。保護者も大勢来られていて、規模が大きいので、テントはなかったが、ご自身のお子さんが競技に出るときは、日陰から前に出て、応援されていて、とても盛り上がった体育祭だったと思う。

**委員：**宇佐美中学校の体育祭に行かせていただいた。最初に生徒数の少なさを感じたが、学校としてはまとまりを感じた。コロナ禍が落ち着いたとは言え、マスクをして参加している子を見かけた。開会式では、話を聞く際に生徒が座っており、倒れる子、熱中症対策なのかと思った。全体の進行は生徒会や実行委員が主体で、先生方が目立たなかった。先生方は、裏方の仕事、順位付けや得点付けなどをやられていて、校長先生に話すと、生徒が運営する体育祭という校長先生が理想とする姿に近づいているとのことで、喜んでおられた。全員リレーなどは、学年が上がるごとに迫力が増して、見応えがあった。保護者席にはテントがなく、日が経つにつれ、暑くなってきたので、少し気の毒だなと思った。他の来賓やPTA会長と話をする機会もあり、情報交換の場としても

復活して、嬉しい気持ちになった。

**委員**：私は9月29日の対島中と門野中の体育祭に行かせていただいた。対島中はマスクをしている生徒がすごく多く、競技中、リレーをしてもマスクを外さない生徒が多かった。生徒は頑張って、楽しくやっているようだった。門野中では、逆にマスクをしている生徒はほとんどいなかった。生徒会が中心となって企画を練ったようで、とても盛り上がっていた。また、規制がなくなったことで、保護者もたくさん見られていた。特に3年生は最後の行事となるので、保護者も規制がなくなって良かったと話されていた。10月20日に門野中の文化祭に行き、こちらも規制が無く、合唱や催し物も普通どおりであった。本日の午前中に対島中の文化祭に行ってきた。1年生のクラスがインフルエンザで学級閉鎖になったとのことで、担任の先生が知恵を絞り、タブレット端末を使って、合唱コンクールをオンラインで中継していた。各家庭のネット環境も前日に急ぎ確認したとのことだ。その場の様子の中継し、学級閉鎖になってしまったクラスは事前の練習時に撮った映像を流していた。このクラスは今後、授業参観等で保護者の前で歌う機会を設けたいとのことだった。これが出来るということは、何かあったときにはオンラインで授業など学校の様子を自宅でも見ることができる、いい試みだと思った。それから、吹奏楽部の演奏の際に、特別支援学級の生徒が担任の先生と一緒にピアノを弾いて演奏していた。一生懸命練習したことが伝わってきた。

**高橋教育長**：次に順番が前後するが、令和5年5月から6月までの定例会会議録の確認を行う。修正点等はあるか。

(意見なし)

**高橋教育長**：会議録を原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：承認が得られたので、令和5年5月から6月までの定例会会議録は原案どおり決定する。会議録の署名は村上委員にお願いします。それでは、議題に入る。始めに、議決事項、教議第8号「令和6年度重点化事業及び新規事業について」を議題とする。

(各課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：重点化事業、拡大事業、新規事業は、令和6年度実施予定ということだが、教育総務課関係で伺いたい。校長会との懇談会で、校長先生から一番要望があったのが、新規事業の特別教室へのエアコンだったかと思うが、今現在、23%程度付いているのを、100%ではなく、50%程度とするのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：将来的には100%を目指す。今丁度、来年度予算に向けて作業をしているが、工事を行う前に、設計作業を取り入れなければならない。その設計の過程の中で、発注の仕方を12校一斉に出来るのか、時期をずらして出来るのか、この点が定かではない。近いうちに100%になるようには、と考えている。

**委員**：来年度に予算を上げて、4月以降に設置ということか。

**杉山次長兼教育総務課長**：はい。まず、これから設計をやらなければならない。

**委員**：それからもう一点、教育指導課に関連して、これもやはり校長会から出ている意見で、支援員の増員について話があったかと思う。先ほどの説明だと、増員はなかなか難しい。そして資格を持った支援員が欲しいという要望もあったかと思うが、これは新規事業として、研修で質を上げるという説明だが、研修を行うことで、資格もカバーできるのか。

**関野教育指導課長**：まず、人員の数については、子供の数が多少下がっているもので、現状維持できると考えている。また、採用枠があっても、実際に勤めて

いただく人材確保が非常に厳しく、今年度も4月ギリギリに集まったような状況である。校長先生の要望も分かるが、校長先生自身も人材を集めることが非常に厳しい状況なので、この辺は一定のご理解をいただけるのかと思う。次に、資格という点については、教員免許、心理士などのいろいろな資格があるが、資格を持っている方に対して、支援員の給与が低く、割に合わないというところもある。教員免許を持っている方にできるだけやっていただく方向性と、支援員についても、新人とベテランがいらっしゃるので、経験の少ない方が一定程度子どもたちの支援ができるところまで、ベテランの方の話を聞いたり、特別支援コーディネーターのアドバイスを受けたりしながら、技術力向上を図る方向性で考えている。

**委員：**教育総務課の事業に校舎トイレの改修工事が上がっているが、これは子どもたちの使うトイレだけで職員のトイレは計画に入っているのか。というのも、体育祭で去年は南中、今年は宇佐美中の職員トイレを借りたが、両方とも和式だった。先生方も我慢されているのではないか。子どもたちのトイレが優先だと思うが、職員トイレについても、ぜひ改修をしていただきたい。

**杉山次長兼教育総務課長：**基本的には、子どもたちのトイレについて考えている。実際のところ、学校からの要望は強く出てきていない。もし要望があれば、検討していきたい。また、学校の場合、どうしても音の出る工事は夏休みなどの限られた期間にやらなくてはいけない中、工期も同時に考えなくてはいけない。もう一度学校とも話をしていきたい。

**委員：**若い先生は大丈夫かもしれないが、やはり今の時代に合わないと思う方もいるかもしれない。もう一点、よろしいか。幼児教育課の新規事業、給食について、八幡野小から池幼稚園への配送が、2学期から始まるという内容だったが、これは更に拡大していくのか。保護者はきっと心待ちにしていると思う

ので、その後の状況、計画についてお伺いしたい。

**鈴木幼児教育課長**：八幡野小学校の調理場でできる範囲という距離的な問題もあって池幼稚園となった。更にどこの園が可能かということは、今後検証していく形となる。そもそも調理をする場所が、保育園の調理室か学校の調理場しかないことから、具体的な計画はないが、なるべく早く、全園での実施に向けて考えていきたい。

**高橋教育長**：トイレへの意見が先ほど出たが、重要なことだと思う。今、和式はあまりないかと思う。ぜひ洋式トイレについては、現場の声をもう1回聞いて、必要であれば、どういった取り組みができるか考えていきたい。

**委員**：3点あり、まずは教育指導課の重点化・拡大事業の中に、ウイスク検査、年間20件とあるが、これは1件当たり、どの程度のコストがかかるものなのか。

**関野教育指導課長**：1件当たりという契約ではなく、時間で契約をしている。今やっていたいでいる方が、この仕事だけではない。例年、20日ほど入っており、件数としてはもう少し多い。

**委員**：その後の指導の指針を決める、とても大事なことだと思う。コスト的に大きいものであれば考える必要があるかと思うが、大事なことだと思うのでお伺いした。次に、教育指導課の新規事業に部活指導者の外部委託があり、試験的にということだったが、こちらもコスト的なところはどうか。やはりこれから学校の先生の負担を減らすためにも、委託のコストが広がっていくかと思うが、その辺のビジョン、1つの部活をお任せする場合に、どの程度の費用がかかってくるのか、感覚的に分からないので、詳しく教えていただきたい。

**関野教育指導課長**：時間給で1,800円程度となる。部活動によって活動時間や土日の試合など、条件が異なるので、いろいろな調査をした上で、交通費

や保険などを鑑み、時給1,800円程度をお支払いする状況となる。来年度は2人ですが、今後増やしていきたい。

**委員**：年間を通すと部活動の時間も多くなる。1つの部活を1人に頼んでいくと、結構なコストになるのかと思う。推し進めていく必要があることだと思いつつ、財源的な部分が今後増えていくときに、イメージができたらと思う。最後に、幼児教育課のICTの充実について、毎日の保育の様子を見ることができれば、保護者の方もありがたいと思う。他の市町で、こういった取り組みをしているところはあるのか。それがなければ、伊東市で子育てをするメリットとして打ち出していけると思う。そういったシステムができて便利になった分、仕事が増えることもあると思うので、先生方の負担は大丈夫なのか、お伺いしたい。

**鈴木幼児教育課長**：保育ドキュメンテーションという取り組みについては、他市では一般的な取り組みとなっており、市内の民間保育園さんでも既に取り組みされている。先生方の負担について話があったが、昨年度玖須美保育園に導入し、今年度3園に導入予定となっており、まだ日頃の保育の様子を記録として写真に残すということに慣れていないところもある。先ほど申し上げた、登園降園時間記録の自動化などもあり、時間管理と写真撮影とはまた違うのかもしれないが、楽になった部分もあるかと思う。iPadの台数を増やし、日々の記録を写真で撮るような習慣にさせていただき、システムの中にある、例えば写っている子の名前を紐付け、その保護者だけが様子を見ることができる機能などを活用していただきたいと思う。慣れが必要かと思ひ、その点が負担と言えれば負担だが、自動化される部分と合わせて調整していただきたい。

**委員**：教育指導課のCOCOLOプラン推進事業、別室登校の伊東市内のニーズについて伺いたい。また、相談員というのは、どのような方が相談員になる

か。3名配置となっているが、これは市全体であるのかお伺いしたい。

**関野教育指導課長**：正確な人数は手元の資料にないが、市内全体で25人程度になる。テストのときだけ来るといった子も多くいるので、完全な数というのは集約できていないが、常時の人数としては述べた程度となる。それから相談員については、心理士や元教員をイメージしている。先ほどの説明とも若干被る部分であるが、心理士さんは他の職場の給与が高いので、元教員が多くなるのではないかと考えている。配置については、市内5中学校のうち、最も大きい南中学校に1人。宇佐美中と北中で1人、対島中と門野中で1人を兼務ということ考えている。

**高橋教育長**：今、物価高騰が激しく、生涯学習課でも新図書館について、いろいろな方向で検討をしている。方向としては、この図書館を頑張って建てなければならぬと思っている。教育委員の皆さんからも市長に対してご意見いただいております、非常に重要な課題だと思っている。何か変化があった場合には、この定例会で必ず報告するようにしたい。物価高騰が大変に大きな問題だと強く感じている。富戸の魚見小屋についても、令和6年度7年度と2か年で修復する計画を立てているが、これも物価高騰でどうなるか心配な部分がある。富戸区からも、文化財として何とか直してほしい、と強い要望が来ている。

**山下生涯学習課長**：魚見小屋の工事費は、2か年で2,764万円を予定している。補助もあり、こちらは2か年で1,297万円となっているが、教育長が申し上げたとおり、これは現時点での見積額となり、労務単価の上昇あるいは原材料、主には木材の上昇に伴って、図書館と同様、予定価格に対し入札価格が上回る可能性は否定できない。その辺は設計変更での対応、あるいは労務単価については、今、2か年と申し上げたが、おおよそ2、3か月で終わる工事、6年度末と7年度初めの2か年で施工することで、補助金を最大限取る仕

組みで進めているので、何かしらの手立ては打てるものかと考えている。

**高橋教育長**：魚見小屋も貴重な文化財であることから、教育委員会としてもしっかりと取り組んでいきたい。予算については、各課長が、細かく市長に話をさせていただき、財政当局にも現場の声をしっかりと伝えていただいている。なかなか財政的に厳しい部分もあるが、何とか実現に向けて取り組んでいきたい。

**高橋教育長**：それでは、この件について確認する。教議第8号「令和6年度重点化事業及び新規事業について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第8号については原案どおり決定した。次に、教議第9号「令和4年度伊東市教育委員会自己点検・評価シートについて」を議題とする。

(事務局から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：教育委員会の5番「園学校及び教育施設に対する支援・条件整備」の「取り組み内容・成果」について、去年は体育祭にも行かせていただいているので、それを加えていただきたい。それから教育指導課の評価でBがずっと続いているような気がする。教育の中でAを評価するということは、すごく大変で、勇気がいることだと思うが、ぜひAを評価して欲しいと思う。教育総務課の3番、これは令和3年度が10.9%だったのが、令和4年度で5.3%に落ちているからCになったということか。

**事務局**：6ページに評価基準が掲載しており、Cについては、「ある程度の成果が得られた。目標数値の概ね60%から80%」ということから評価した結果となる。

**委員**：生涯学習課の21番もそうだが、数字を見極めなければ分からない内容

だと思う。評価だけを見ると難しい。生涯学習課の評価の項目が、コロナ禍で評価できないが続いていたが、段々と評価できる項目が増えてきて良かったと思う。安心しました。

**高橋教育長**：5番については、文言を加えてほしいということで、後ほど議決したい。感想も含めて他に意見はないか。教育指導課でずっとB評価が続くのはどうかという問いもあったが、その辺はいかがか。

**関野教育指導課長**：私も同じ思いではいて、例えば8番、生活アンケートで95%以上という、かなり高い数値を挙げている。教育的に考えると、例えばいじめなどは100%にしたい、その数字に近づけてしまう。かなり高い割合で来ているが、どうしても数%が足りないというものが結構ある。今ご意見いただいたので、来年度以降、指標自体も考え直して、対応していきたい。

**委員**：教育総務課の3番、給食センターでAからCということだったが、4年度に下がった原因は何だったのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：給食の賄い材料費は、家庭からいただく賄い材料費と、市からの物価高騰分補助、地産地消費の3本立てで成り立っているが、物価高騰が激しいため、地産地消費の予算が少し食われてしまっている。可能な限り地産地消としたいが、前年よりパーセンテージで言うと、下がってしまっている。

**委員**：ここの項目については前年比でやっているのか。そうすると来年度は良くなる可能性が高いのか。

**杉山次長兼教育総務課長**：今の情勢でいくと、これ以上物価が下がるということはないかと考えている。また、給食センターでも見積もり合わせを行っており、食材費を抑える工夫をしているので、今後評価が上がることもあるかと考えている。

**委員**：生涯学習課の21番もやはりAからCということだが、元小学校の管理というのはどうなっているのか。

**山下生涯学習課長**：生涯学習課が使う部分は、いわゆる学校開放事業、学校の施設を教育活動に使っていない部分、時間を使わせてもらっている。委員がおっしゃる廃校となっている学校全体の管理は教育総務課が、学校開放で壊れてしまった部分は生涯学習課が修繕を行っている。

**杉山次長兼教育総務課長**：補足しますと、例えば、以前、体育館の舞台幕を学校開放で来た小さいお子さんがぶら下がって、破れたことがあったが、そういう場合は生涯学習課の範疇として修繕していた。施設としては廃校になった学校施設は教育総務課で管理をしている。

**高橋教育長**：今、教育総務課の3番、生涯学習課の21番でC評価となるところが、これでいいのかという意見があったが、その部分に限っていかがか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：どちらの意見もないようなので、来年度に期待するというので、この件について確認する。教議第9号「令和4年度伊東市教育委員会自己点検・評価シートについて」は、一部修正し、承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第9号については一部修正のとおり決定した。次に、教議第10号「伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について」を議題とする。

(鈴木幼児教育課長から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：それでは、この件について確認する。教議第10号「伊東市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則について」は、原案どおり承認してよろしいか。

(異議なし)

**高橋教育長**：委員の皆様から承認が得られたので、教議第10号については原案どおり決定した。以上で議決事項を終了する。次に、報告事項に入る。教報第9号「伊東市学校給食センター給食用物資調達取扱要綱の一部を改正する告示について」を議題とする。

(**杉山次長兼教育総務課長**から資料に沿って説明)

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：以上で報告事項を終了する。次に、その他「各課報告について」を議題とする。

**杉山次長兼教育総務課長**：教育総務課から2点報告する。まず、令和5年度実施の伊東市教育機関職員採用試験について報告する。令和5年6月1日から募集をしてきた伊東市教育機関職員採用試験について、令和5年10月10日に第6回試験委員会を行い、1人の合格者を決定し、10月16日にホームページへの公表と本人への内定通知を発送した。続いて、二次募集を10月16日から開始し、11月2日まで募集している。募集人員は一次募集で4名としたところ、1人の内定者を出したことから、3人を新たに募集することとした。試験内容はSPI試験と面接などを一次募集と同様に行い、年内に合格者を決定したい。次に、伊東小学校の3校統合に関するアンケートについて報告する。前回はスクールバスについてのアンケート結果を報告したが、3校統合に関して、簡単にご説明させていただく。

(杉山次長兼教育総務課長から資料に沿って説明)

これらアンケートを活かしながら、今後、教育問題懇話会等で統合に対する検証を行い、次の政策の参考にしてまいりたい。

**関野教育指導課長**：教育指導課からは3点報告する。まずは、生徒指導について報告する。問題行動について、9月分まで累計で見ると、小学校は例年に比べて若干減り、中学校は例年に比べて若干多い状況にある。内容を見ると、小学校では、特定の児童に対する悪口や暴言、物を隠すなどいじめとして認知されるケースが複数報告されている。中学校ではネットトラブルが数件報告され、また体育祭関連で練習中のトラブルが報告されている。夏休みが明け、本格的に学校生活が始まったことから、いろいろな報告が上がってきているが、今後、中学校は3年生が受験を控え、小学校では修学旅行等行事があるので、落ち着いた生活が送れるよう、学校には伝えていきたい。続いていじめに関しては、先ほどの報告と関連し、非常に多く報告を受けている。問題行動にリンクして数が上がってきている。また、子ども同士の呼び方や話し方といった些細なことでも、相手方が嫌がる場面があるので、状況や場面に応じた指導をしていきたい。最後に不登校について、9月になり増えてきている。小学校では、特に大きな行事はなかったわけだが、暑さも関係して、若干不登校が増えてきている。今後、自然教室や修学旅行といった行事があるので、そこに向けて頑張る児童もたくさんいる。行事をうまく活用しながら対応していきたい。中学校も重複する部分があるが、体育祭文化祭等、そこに向けての活動や準備を意欲的に頑張る子どもが多いと報告を受けている。一方、全校的な雰囲気盛り上りの一方で、それについて行けない生徒もいるので、その辺はいい塩梅、頑張りすぎず、一方であまり落ち込まずに指導をしていきたい。続いて、生徒指導報告と関連し、前回の定例会で話題となった携帯電話の指導に関する質問につい

て、資料をお配りしている。

**(関野教育指導課長**から資料に沿って説明)

最後に英語のALTについて、何年か毎に任期があり、会社と契約を行っている。来年4月から変わることになるので、プロポーザルを行っている。3社ほど応募があり、会社のことや指導者の派遣方法などを聞いて、総合的に判断して、決めていきたいと考えている

**鈴木幼児教育課長**：幼児教育課から2点報告する。1点目は先月報告した幼稚園の預かり保育アンケート結果について、報道提供を行い、取り上げていただいたので報告する。2点目は、来年度に向けた入園の申し込み状況についてである。保育園については、10月2日から13日までの2週間、平日10日間申し込みを実施した。現在、集計等入力作業中につき、次回定例会で報告させていただく。幼稚園の申し込みについては、10月11日に各園一斉に申し込みを実施した。こちらは数字が出ており、令和5年度は公立7園で園児数220人だったが、来年度は申込者を含め170人となる。3歳児の入園申込者数が39人で、去年は65人だったことから、3歳児の申し込み減が大きい。これは少子化の影響もあるが、保育園を希望される方も多く、保育園の入所調整等もあることから、家庭の状況によって、幼稚園を希望される方もいらっしゃると思う。

**山下生涯学習課長**：生涯学習課から2点報告する。まず1点目として、芸術祭について、上演部門、展示部門、ともに制限なく実施しており、多くの方が訪れている。2点目は先ほど教育長からも報告があったジャパンマウンテンバイクカップが伊豆市のサイクルスポーツセンターのオリンピックコースで10月22日に開催された。7カテゴリーでレースが開催され、伊東市長や共催の伊豆市、伊豆の国市の市長もプレゼンターとして参加いただき、盛況のうちに実

施された。22日のレースで2位となったフィリップ選手が、伊東小に来て、体育館でデモンストレーションや児童が乗車体験でスラロームをするなどして交流をした。

**高橋教育長**：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

**委員**：幼稚園の採用試験の二次募集について、募集中だと思うが、今の時点で応募者は出ているのか。それから、わたしの主張大会やスマイル発表会ができるようになって、良かったなと思いました。そして、前回の定例会後に、委員で八幡野幼稚園の給食に参加できたら行きたいと話をした。そのようなお願いができたらと思う。

**杉山次長兼教育総務課長**：今のところ募集者はありません。待っていても増えないかと思うので、何かできないか策を考えている。

**鈴木幼児教育課長**：幼稚園給食については、八幡野幼稚園の子どもたちも慣れてきましたので、委員さんの都合の合う範囲で、また企画をしたいと思っている。

**委員**：不登校の児童生徒について伺いたい。市内でも、全国的にも、不登校の人数が増えているかと思うが、別室登校もできない、完全に家に引きこもって、外に出ないような子どもに対して、何かケアや手立ての検討はあるのか。そういった子も増えて来ていると思う。

**関野教育指導課長**：ご指摘のような児童生徒は確かにおり、学校は定期的に安否確認、その子が本当にいるのか確認している。ただ、子どもによっては、家庭の指導方針、子どもが行きたいというまで行かせないという方針の家庭もある。しかし、子どもは生活が昼夜逆転してしまい、家庭訪問をしても時々しか会えない事例もある。逆に、家庭訪問が重荷になるので、来てもらいたくないという家庭もある。そういった家庭とは、いろいろと話をしながら、月に1回

は声を聞かせてほしいとか、ふすまを挟んででもいいから話をさせてほしいなど、学校個々に対応している。ただ、委員おっしゃるとおり、学校にも限度、それ以上の手立てがないのは正直なところである。子育て支援課や家庭児童相談所など福祉部門とも連携し、学校からのアプローチに限らず、対応している。教育指導課としても、話が来れば各所を紹介している。確かに非常に大きな問題で、学校も教育指導課も課題として考えている。

**委員**：会えない家庭は、やはり親が拒否する家庭なのか。子本人も拒否なのか。

**関野教育指導課長**：いろいろなケースがあり、例えば子どもが学校関係者とは一切会いたくないというケース、保護者もそれを尊重しているケースもある。逆に子どもは少し行きたい様子があっても、保護者が勧めないというケースもあり、なかなか難しい問題である。子育て支援課には、今現役の養護教諭が派遣されているので、そこでもいろいろな様子分かる。相談をしながら、多種多様な対応を行っている。

**委員**：ありがとうございます。

**委員**：先日、河津町でクマが出たというニュースがあった。そうあることではないと思うが、大池小学区ではよくイノシシが出る。そうすると、学校の放送でどこにイノシシが歩いていたから帰り道は気をつけましょうと放送が流れるが、それだけである。そういった場合の対応はどうなっているのか。

**委員**：あの周辺もイノシシは出ると思うが、普通イノシシは夜行性なので、昼は出にくいと思う。ただ、この頃は暮れるのも早くなってきたので、学校も困ると思う。

**高橋教育長**：基本的にイノシシなどが出た際は、学校は子どもたちに知らせ、重要な内容については、広報いとうで放送することもある。それから、PTA会長に連絡をするなどもしている。産業課や危機対策課と連携をしながら、場

合によっては警察に力を借りることもあるかと思うが、子どもたちの安全に関わることは、それぞれの課で連携しながらやっている。また、次の定例会の際に、河津町の事例について報告できるようにしたい。

**関野教育指導課長**：イノシシやサルが出た際は、大体、地域の方から市役所に連絡があり、産業課から教育指導課に連絡がある。メールや手紙でイノシシの場合、サルの場合などそれぞれ指導している。今年度は八幡野や富戸地区で出ているが、もしかすると大池地区はいつも出ているので、地域住民から報告が少ない可能性もある。

**高橋教育長**：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

**高橋教育長**：今後の日程について確認する。

**事務局**：11月の定例会については、11月21日(火曜日)午後2時30分を予定している。12月の定例会については、12月21日(木曜日)を予定とする。

**高橋教育長**：以上で伊東市教育委員会10月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委員 村上 恵宏

書記 松岡 翔太